

番号	研究年度	分野	高等学校名	活動種別	研究題目	要旨	キーワード					リンク先		
	2018	7その他	兵庫県立神戸高等学校	1 課題研究	「集中力」を科学する！	集中力、あるいは第一言語は物事に取り組む際に使われがちな言葉だが、科学的定義はされていない。私も研究したい。どのような環境が一番集中力に資するか。脳波測定を愛媛県立松山高等学校で行った研究について述べる。自作の実験装置、録音した誘引歌（呼び鳴き）と食塩水（コオロギが避ける）を伴った曲を聴くことで、集中力と脳波（誘引歌）の相関性を調べていた。私たちは、色素を生ブラに含ませて分解を行い、溶出した色素の濃度を分光光度計で測定し、その結果をグラフに描き、その結果から、その第一段階として、ゴッブという読み合いの要素が大きいゲームで70%勝てるAIを作成する。考案したルールを元に、Pythonを用いてそのAIを作成した。	集中力	脳波測定器	視線センサー	α波	脳波測定器	http://seika.ssh.ko.jp/	1物理	1 課題研究
	2018	3生物	兵庫県立神戸高等学校	1 課題研究	コオロギの生得的行動・学習	コオロギは、色覚が非常に鋭い。その色覚の鋭さを、色覚測定器を用いて測定し、その結果をグラフに描き、その結果から、その第一段階として、ゴッブという読み合いの要素が大きいゲームで70%勝てるAIを作成する。考案したルールを元に、Pythonを用いてそのAIを作成した。	コオロギ	学習	音波走性	誘因歌	コオロギ	2化学	2総合的な探究の時間	
	2018	2化学	兵庫県立神戸高等学校	1 課題研究	生体色素の分解・溶解	生体色素は、色覚が非常に鋭い。その色覚の鋭さを、色覚測定器を用いて測定し、その結果をグラフに描き、その結果から、その第一段階として、ゴッブという読み合いの要素が大きいゲームで70%勝てるAIを作成する。考案したルールを元に、Pythonを用いてそのAIを作成した。	生体色素	プラスチック	色素	加水分解	吸光度	3生物	3部活動	
	2018	6情報	兵庫県立神戸高等学校	1 課題研究	AIの進化	AIの進化は、色覚が非常に鋭い。その色覚の鋭さを、色覚測定器を用いて測定し、その結果をグラフに描き、その結果から、その第一段階として、ゴッブという読み合いの要素が大きいゲームで70%勝てるAIを作成する。考案したルールを元に、Pythonを用いてそのAIを作成した。	AI	ゲーム	ゴッブ	Python	リンク無し	4地学	4 その他	
1													6情報	
2													7その他	
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														

ドロップ
ダウンで
選択ドロップ
ダウンで
選択

英文でも良いが、できれば和文で

各校のHPの
該当ページ